

評価委員 : 高松由貴、安西暉之、柴俊明、本橋慶子、塚越良太  
報告書作成者: 小川克己

評価時期 令和8年3月

## 1 重点目標の評価

(1) 「好きな遊びに熱中し、自分らしさを素直に表現できる「元気に遊べる子」を育む」について

職員が近隣を探索し園児が遊べる公園や広場が多くなったことで、園外活動が増え、園庭が狭いながらも園児が身体全体を使って伸び伸びと運動遊びや自然に触れる機会が提供できている。園庭での野菜の栽培、エビ、めだかなど飼育を行い、身の回りの自然物、栽培・飼育物に興味関心をもつとともに、子どもが好きな遊びをじっくり楽しみ、心が動く豊かな体験を通じて成長を喜ぶ経験ができるよう意図的・計画的に教育活動を進めており、心身共に成長していることが伺える。こういったこども園での豊かな体験・活動が、保護者アンケート結果の高評価に繋がっているものと思われる。

(2) 「自ら考えて行動し、最後までやりぬく努力をする「根気よくやりぬく子」を育む」について

個々の園児が「自分のやりたいこと（得意なこと）」を伸ばす活動を行い、園児の「できた」という達成感や「みてほしい」という自信につなげている。縄遊びでは持ち手なしの縄を使い、飛べた回数により色テープを貼りチャレンジ精神を養うなどの工夫はその一例で、自ら考え根気よくやり抜く教育活動を進めている。特に年長ではチャレンジノートを活用して、それぞれが自分のやりたいこと、チャレンジすることをノートに書いて取り組んでいる。一人ひとりの目標に合ったやりたい遊びで楽しみながら取り組んで成長していることが伺え、保護者の評価も高い。

(3) 「自ら調べ知識を高め、好奇心や想像力のある「読書好きな子」を育む」について

園の蔵書だけではなく図書館の集団貸出も利用して子どもたちの興味を引く本を多く用意・活用し、自由に好きな本を選んで手に取って読めるような環境を整備している。特に「表現あそびのつどい」においては、絵本をもとに子どもたちが想像（創造）しながら自分らで題目や内容を決めていくような活動をすすめている。また、年長児がジャンルごとのラベルにより本の整頓を行って年下の子どもに教えるなど、本を大切にする気持ちを育み、読書が好きになるような教育活動が行われていることが伺える。

(4)「優しく思いやりがあり、場や人に親しみをもつ「素直で思いやりのある子」を育む」について

1～5歳児が同じフロアにいて同じ園庭・廊下で遊び育っていくことから、異年齢保育にも積極的・計画的に取り組んでおり、年長が年下の子どもを思いやったり年下の子どもは年長の子とも遊んだり、家庭では経験できない環境を整え共感力を大切にしている。阪本小学校との幼小連携や「まごころプロジェクト」での高齢者との交流、兜町ならではの金融関係の施設への散歩、隣接の坂本町公園との関わりの中で地域の協力を得ながら、地域や身近な人への親しみの気持ちを育むような教育活動が行われていることが伺える。

令和7年度から始めた”すくわくプログラム”では、「食育を通してところが動く体験をする」をテーマにして、各年次で代掻き・田植え、ますのつかみ取り・調理・喫食、ぶり解体ショー、地産・地消などにより「不思議」「やってみたい」「楽しい」などを体験した。その中で、他者への思いやりや感謝、いのちをいただいて生きていること等をしっかりと学んでいることが伺える。

## 2 今後の改善に向けた意見

重点目標やその他の教育保育に関連する項目については保護者のアンケート結果および自由記述においてもかなり高く評価されており、教育保育活動の取組姿勢、成果とも十分なものと感じられる。前年度と比較して各項目の評価が若干下がっているが、保護者が情報共有、コミュニケーション不足を感じていることも考えられるので、限られた時間で保護者に如何に効率的に情報を共有していくかこども園からの情報発信を工夫してはどうか。

行事や参観についての保護者・家族の参加人数の制限等については、施設のキャパシティの制約もある中、工夫をして改善されており保護者からも評価を得ている。預かり保育・延長保育についても弾力的な運営（週1回の1号園児保護者のリフレッシュ預かり）が実施され一定の評価を得ている。今後とも家庭との役割分担等園の教育方針をしっかりとていねいに保護者に伝えるとともに、率直に話し合い、その対応を更に工夫していくことや各種相談なども引き続きお願いしたい。

今後も引き続き教育保育活動の更なる充実がはかれることを期待したい。

## 3 その他の意見

小学校交流・連携や地域との交流、また地域の他の幼稚園・保育園との交流等を更に活発に行い、地域に密着し愛される園となるような更なる取組み期待する。

令和8年度は祭礼もあることから祭りを体験してもらうなど、保護者・こどもの地域への関心も上がるよう町会としても応援するので遠慮なく申し出てほしい。

## 令和7年度 阪本こども園における重点目標

教育目標 ・元気に遊べる子 ・根気よくやりぬく子 ・読書好きな子 ・素直で思いやりのある子

### 重点目標1 ○好きな遊びに熱中し、自分らしさを素直に表現できる「元気に遊べる子」を育む

評価項目： 園庭をはじめとする園内施設や近隣公園などを十分に活かし、保育教諭や友だちと運動遊びや自然に触れる経験ができるよう意図的・計画的に行う。

評価指標： ・好きな遊びをじっくり楽しみ、心が動く豊かな体験をしている  
・「やってみたい」「やってみよう」とする気持ちが高まる活動を経験している  
・身の回りの自然物、栽培・飼育物に興味関心を持ち、触れる等、生長をよろこんでいる

### 重点目標2 ○自ら考えて行動し、最後までやりぬく努力をする「根気よくやりぬく子」を育む

評価項目： 遊び、生活の中で子どもたちの「なぜ、どうして」を汲み取り、探究の拡がりに繋がるような環境設定や保育教諭の関わりを行う。

評価指標： ・季節にあった遊びや発達に必要な体験が得られるような安全な環境が、園内外に用意されているか  
・一人ひとりが安心してやりたい遊びを見つけ楽しんでるか  
・遊びや生活の中に探究心をもって楽しんで取り組む姿がみられているか

### 重点目標3 ○自ら調べ知識を高め、好奇心や想像力のある「読書好きな子」を育む

評価項目： 自分が興味を持った絵本を手に取り見たり、触れたりしながら子どもたちのペースで絵本に触れられるよう、子どもの手の届く本棚を設置して活動を進めていく。

評価指標： ・年齢にあった絵本の選定がされているか  
・読み聞かせでその世界に没頭したり、興味のある本を何度も読んだりして想像力を働かせ、コミュニケーションを取ったり、行動したりしているか  
・興味や疑問に対して ICT や図鑑を活用する姿がみられるか

### 重点目標4 ○優しく思いやりがあり、場や人に親しみを持つ「素直で思いやりのある子」を育む

評価項目： 通常保育の他にも異年齢保育での教育保育を計画的に行い、思いやりや感謝の気持ちを育む。また、身近な環境を活用して地域を知り、場、人や生き物に親しみを持つ

評価指標： ・遊びや活動を子どもたちが主体的に「広げる」「深める」ことができているか  
・生活に必要な言葉を自分から言えるようになったか。(挨拶、返事、謝る)  
・他学年の園児と活動する中で、関わりを喜んで(年長は思いやって)遊ぶ事ができたか  
・自分の住んでいる地域、身近な人や生き物に親しみの気持ちを持っているか